

Brown Bag Seminar

No. 055

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら2022
6.29 (水) 12:10
12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ecA7PurTQVWTVL980EoOSA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

浮体式洋上風力発電の現状と将来展望

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

宇都宮 智昭 教授

工学研究院 海洋システム工学部門



わが国においても、2050年のカーボンニュートラルに向けて、洋上風力発電への期待が高まっています。特に、浮体式洋上発電は、水深が急に深くなるわが国においても大量導入が可能な発電方式であり、極めて大きなポテンシャルがあります。本講演では、環境省の実証事業として実施された浮体式洋上風力発電実証事業を中心に、浮体式洋上風力発電の開発の現状を紹介した後、今後に向けた課題や将来展望についても触れたいと思います。

1990年、京都大学工学研究科修了。京都大学工学部土木工学科助手、英国オックスフォード大学理工学研究科上級客員研究員、京都大学大学院工学研究科土木工学専攻助教授、京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授を経て、2014年より九州大学大学院工学研究院エネルギー資源工学共同研究部門教授、2016年より同大学大学院工学研究院海洋システム工学部門教授に着任しました。

主な研究テーマは、浮体式洋上風力発電を中心に、海洋再生可能エネルギー利用のための基盤技術の開発に取り組んでいます。

Key Words

海洋再生可能エネルギー
浮体式洋上風車
浮体式洋上風力発電